研究課題名:
「ブルーリ潰瘍の病態解明と診断・治療法開発のための研究」に対するご協力のお願い

国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所（研究代表者:阿戸　学）では、国立健康危機管理研究機構倫理審査委員会の審査を経て理事長が承認した「ブルーリ潰瘍の病態解明と診断・治療法開発のための研究」に関する研究を行っております。

1. 対象となる方と研究期間
2030 年 3 月 31 日までの間にブルーリ潰瘍と診断された方（研究期間:研究承認日～2030 年 3 月 31 日）

2. 情報の利用目的及び利用方法
利用目的:ブルーリ潰瘍検査結果や他の情報を用いてブルーリ潰瘍の病態解明や新しい診断・治療法開発のための研究を推進させようとすること。
利用方法:情報は、研究グループのみで共有し、個票ではなく、統計データのみを WHO に報告するとともに、学会等で発表すること。

3. 利用し、又は提供する情報の項目
下記調査票の項目（提供先機関では対象者個人の識別は行うことができません）
1. 患者年齢
2. 性別
3. 患者居住地 （　　県　　市）
4. 職業
5. 初診日（年/月/日）:
6. 既往疾患　（ 有 、 無 ）
「有」の場合、詳細: _
7. 病変部位　（　　）
8. 皮膚病変　　□ 潰瘍病変
□ 非潰瘍病変 : □ 丘疹、 □ 結節、 □ 硬結
9. 病変の数　（　　個 ）
10. 病変の大きさ（多発性病変の場合は最大の病変）（　　cm ×　　cm）
11. 浮腫　　（ 有 、 無 ）
12. 骨髄炎　　（ 有 、 無 ）
13. 病変部の痛み（ 有 、 無 ）
14. 関節可動域制限 （ 有 、 無 ）

15. 治療内容　（ 有 :薬剤名　　、 無 ）
16. 治療期間　（　　週間）
17. 手術　　（ 有 、 無 ）
「有」の場合、手術法、切除範囲:(_____)
手術日(年/月/日): _____ / __ / __
18. リハビリ介入　（ 有 、 無 ）
19. 転機　　□ 後遺症なしで治癒 、 □ 後遺症を残して治癒 、
□ 治療中 、 □ 死亡 、 □ 不明
20. 水との関係 （水辺で遊んだ、水に触れる機会など）（ 有 、 無 ）
「有」の場合、詳細:

4. 提供する情報の取得の方法
ブルーリ潰瘍の診療に基づいて取得する

5. 情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名
研究対象者をブルーリ潰瘍と診断した医療機関

6. 情報の管理について責任を有する者の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称
研究代表者;阿戸　学
国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所
ハンセン病研究センター

7. 利用する者の範囲及び研究責任者
研究代表機関　国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　阿戸　学
研究分担機関　Tulane 大学　四津理英
滋賀医科大学　藤本　徳毅
横浜西口菅原皮膚科　三上　万里子

8. 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨、研究対象者等の求めを受け付ける方法:
本研究では、個人関連情報の提供のみを行うため、研究対象者が識別されることはありません。しかし、本研究への協力を望まれない方は、その旨をブルーリ潰瘍と診断を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。情報の当該研究への利用と研究組織への提供の撤回・削除に応じます。ただし、WHO に統計情報として既に報告した症例数からの除外はできません。

※研究に関するお問い合わせ先:
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学皮膚科 講師 高橋聡文
TEL: 077-548-2233

作成日:2026 年 9 月 1 日 第 2 版